

よりよく生きようとする生徒の育成を目指して

校長 富田 敬一

「令和」がスタートしてちょうど1年となる5月1日は、本校の74回目の創立記念日でした。今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、新学期早々2か月に及ぶ臨時休校、学年登校による始業式や入学式の開催など、本校の長い歴史の中でもかつてない異例のスタートとなりました。再度の休校延期を経て6月1日に再開予定ですが、まだまだ感染収束の先行きが見えない状況が続きます。今後も生徒たちはもとより保護者の皆様には、感染防止のために、授業や行事、部活動、PTA活動など、学校生活の様々な場面で、例年とは大きく異なる対応や制約を求め、もどかしさや不便さを感じられることも多いと思いますが、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

さて、このような状況ですが、生徒たちが安全で健康な学校生活を送ることを最優先に考えながら、今年度も三木中の生徒たちの長所や本校の良き伝統を大切にして、更に伸ばしていきたいと思えます。そのために、「よりよく生きようとする意思や能力を培う生徒の育成 ～学習に励む 心を磨く 体を鍛える～」を今年度の教育目標に掲げ、次の3点に力を入れて三木中の教育を充実させ、生徒たちの更なる成長を図っていきたく考えます。

(1) 確かな学力を身につけさせ、主体的に学習に取り組む態度を育成する。

- ・臨時休校による未履修や遅れの解消を図るために授業時数の確保に努めるとともに、言語活動を充実させ、言語で表現された内容を理解して適切に表現する資質や能力を育成する。
- ・「自主学习ノート」や「みっきいすてっぷ」の活用、「家庭学習強化週間」の取組等を通して、家庭と連携した学習習慣の定着や充実を図る。

(2) 自尊感情を育み、自他の生命の尊重、他者への思いやり等の道徳性を養う。

- ・「自己」や「他者」との対話を通して考えを深める道徳授業に取り組むとともに、生徒が自己の道徳的成長を実感し、意欲向上につながる評価に努める。
- ・人権尊重の教育を全教育活動のなかに位置づけ、差別やいじめを許さない態度を育むとともに、人権意識の高揚を図る。

(3) 自主性や自発性を伸ばし、達成感や自己有用感を味わうことのできる集団づくりに努める。

- ・学校行事のあり方を見直すとともに、各行事の意義を啓発して生徒の意識高揚を図り、生徒が自主的、主体的に活動する機会を増やす。
- ・生徒会や部活動を中心に、地域に貢献するボランティア活動や地域行事への積極的な参加を促し、地域の一員としての自覚や誇りを育む。



最後になりましたが、学校の教育活動の充実は、学校と家庭と地域の連携によって可能となります。とりわけ、学校と家庭の両輪があってこそ、子どもの個性や可能性を見出して伸ばす教育ができるものと考えます。生徒たちのより良い成長を図るために、保護者の皆様には、学校の教育活動に重ねてご理解とご協力をよろしくお願いいたします。